



【教育目標】

豊かな心を持ち実践力のある生徒の育成

【目指す生徒像】

季節の花と明るい挨拶にあふれ、
生徒一人ひとりの夢と生きる力を培う学校
—大好きTAIHEI—

「ボランティアって？」

校長 鈴木 純

ピンクや白色のハナミズキが目を楽しませてくれ、だんだん淡い色の新緑が徐々に広がり、緑が美しい季節へと舞台が変わっていく頃となりました。

つい先日、入学式・始業式が終わったばかりと思っていたのですが、4月のあわただしさに心が奪われ、あっという間にゴールデンウィークに突入。みなさん、どんな休暇でしたか。生徒のみなさん、ゆっくりと休養が取れたでしょうか。5月も行事が目白押しです。

新型コロナウイルスの感染症のレベルが5月8日に感染症法上の分類が5類に移り、季節性インフルエンザと同じ扱いになることですが、社会情勢に注視しながら、健康・安全な学校生活を送れるよう進めて参ります。

さて、本校では、いよいよ生徒のボランティア活動の前段階として、「泰平中学校 学校運営協議会」が設置する「泰平中学校 生徒のボランティア登録制度」を始動します。

では、そもそも「ボランティア」って何？と思う人もいると思います。厚生労働省によれば、一般的には「自発的な意志に基づき他人や社会に貢献する行為」を指してボランティア活動と言われています。また、埼玉県

のホームページでは、さらにわかりやすく説明されていました。【右記参照】ちなみに、泰平中学校のボランティアの目的は、『本校生徒が学校・PTA・地域社会が主催するボランティア活動に自主的に参加することにより、社会貢献や福祉活動への関心を高めるとともに、教職員・保護者・地域住民との交流を深めながら、より豊かな地域社会づくりを構築すること』です。生徒のみなさんは部活動や塾・習い事等があり、なかなか時間をとるのが難しいと思いますが、余暇の中で行えるよう工夫してみてもはどうでしょうか。部活動休養日や3年生の部活動引退後の余暇など工夫して、地域の大人の方たちとの交流ができれば素晴らしいです。ボランティアを通して、何か新しい見方や考え方が見つかるかもしれません。ぜひ、社会貢献に目を向けてみましょう。

【地域の方々へのお願い】

泰平中学校では、以上のような内容で、生徒の育成と地域活性のために、中学生ボランティアを地域に派遣し地域の皆様のお役に立つような活動を開始します。ぜひ、公共施設や自治会・PTA等で人手が足りないときは、「いつ・どこで・いつまで・どんな内容・必要な人数等」をお早めにお知らせください。中学校ホームページでも広報をしていく予定です。

なお、本制度による依頼できるボランティア活動の対象は、【本校教職員主催のもの、本校PTA主催のもの、本校学区内の地域住民及び公共団体が主催する各種活動、その他学校運営協議会が適当と認めた営利を目的としない団体が主催するもの】に限られております。詳しくは本校学校地域連携コーディネータまでお問い合わせください。

① 自発性・自主性

誰かに強制されたり義務としてではなく、自らすすんで行う活動です。

② 社会性・連帯性

一人ひとりを尊重しながら生活や社会を一緒に考え、誰もがいきいきと生活できるよう支えあいを学ぶ活動です。

③ 無償性・互酬性

お金や物や名誉などを求めない活動で、お互い様という対等な関係で行われる活動です。

④ 先駆性・創造性

私たちの生活の中のさまざまな課題を自分たちで考え、解決するためにできることから実践したり、社会へ発信していく活動です。